

# 平成31年 第1回教育委員会 会議録

日 時 平成31年1月30日(水) 午後2時

場 所 野々市市役所 3階 教育委員会室

活 動 報 告 1月活動報告  
及び行事予定 2月行事予定

報 告 1 第22回図書館を使った調べる学習コンクール(全国大会)の結果について(学校教育課)  
2 平成31年度立志式及び平成32年成人式について(生涯学習課)

そ の 他

出席委員

教育長	堂坂 雅光
教育長職務代理者	松野 勝夫
委員	松本 哲幸
〃	宮川 美保子
〃	安嶋 是晴
〃	高桑 奈美

出席した事務局職員

教育文化部長	大久保 邦彦
教育委員会事務局参事兼学校教育課長	松田 英樹
教育文化部次長兼生涯学習課長	横山 貴広
教育総務課長	塩田 健
文化課長	田村 昌宏
スポーツ振興課長	清水 実
学校教育課参事兼課長補佐	中野 賢一
教育総務課課長補佐	前川 賢吾
教育総務課庶務係	北 淳史

## 議 事

開会 (午後2時4分)

堂坂教育長      ご苦労様でございます。ただいまから平成31年第1回教育委員会を開催いたします。新しい年を迎えまして、早いもので1月が経とうとしています。昨年は学びの杜ののいちカレードの開館1周年を迎え、1年間通して見ていますと、利用者のカレードへの注目度が非常に高く、現在でも利用が続いていることが、私たちにとっては良かったと思うところであります。ただ、利用者が多いということだけでなく、やはり利用者のお声を聞いて、質的に満足度が高い運営・事業をしていくべきだろうと思っておりますので、そういう意味では、新しい取組みなどを加えてカレードの事業の充実に努めていきたいと思っております。また、今年3月には中央公民館のにぎわいの里ののいちカミーノが整備され、完成いたします。4月から新たな中央公民館が開館になる予定であります。こちらもカレードと同じように、にぎわいを創出する施設としてふさわしいような取組みをしていきたいと思っております。事務局で準備をしていますが、皆様方から、何かお気づきの点がありましたら、ご指摘をしていただきたいと思います。学校教育については昨年1年間を見ていましたが、毎日のように小さな出来事がありますが、それを早め早めに学校側で対応していただいております。おおむね落ち着いた状態、良好な状態とって良いのではないかと考えています。子ども達も学校が楽しい、先生方も楽しい、あるいは働きがいがあるというように実感していただけるような環境づくりに、今年も努力していこうと思っております。学校教育・生涯学習・文化・スポーツ全般に亘って、我々は施策を行うわけですが、委員の皆様と事務局の皆さんの連携が大事だと、毎年言われていることだと思います。しかし、連携というのは何を指すのかということもあるかと思っております。教育委員会は教育行政を最終的に決定する行政機関になりますが、やはり決定していく上で、事務局からの確かな情報・考え方を聞いた上で、どういう決定をすれば良いかという情報の共有という部分があります。それから、連帯意識を共有していくことが大事なのではないかと考えております。きめ細かい連携をしていくということで、色んな意見を交わし合いながら、望ましい施策を選択していけるように、新たな施策を生み出していけるようにしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは本日の議事録の署名を宮川委員と安嶋委員にお願いいたします。  
まず始めに「1月活動報告」から報告いたします。

堂坂教育長

「1月活動報告」説明。

(説明の概要)

12/25 来年度学校づくり構想についての校長ヒアリング

1/7 定例校長会議

1/10 えふえむ・エヌ・ワン ホームタウンののいち出演

1/24 平成31年度当初予算市長裁定

堂坂教育長

1月活動報告は以上であります。ご質問等ありましたらお願いします。

特にないようですので、活動報告は以上で終わります。

次に「2月行事予定」について説明をお願いします。

大久保部長

「2月行事予定」説明。

(説明の概要)

2/4 旧北国街道まちづくり計画基本構想策定業務評価委員会

2/5 定例校長会議

2/5 県教委連「第2回役員会」

2/5 県教委連「新任教育委員研修会」

2/5 県教委連「臨時理事会」

2/6 第74回国民体育大会冬季大会出場選手激励会

2/10 平成31年野々市市グラウンド・ゴルフ協会第28回総会

2/10 劇団 nono 第10回定期公演(11日まで)

2/11 野々市市TSUBAKI CUPバスケットボール大会第20回記念事業

2/13 第71回石川県民体育大会冬季大会壮行会

2/14 白山市・野々市市 保健衛生、学校保健等に係る懇談会及び懇親会

2/15 第3回生徒指導連絡協議会

2/17 第49回白山・野々市各種団体剣道大会

2/17 御園学童野球創部40周年記念式典・祝賀会

2/18 庁議

2/18 第3回青少年メディア対策連絡協議会

2/19 平成30年度金沢工業大学・野々市市連携推進協議会

2/22 教育福祉常任委員会

2/23 第71回石川県民体育大会冬季大会(24日まで)

2/24 市スポーツ少年団総合交歓会

2/24 野々市市パークゴルフ協会平成31年(第23回)通常総会

2/25 地球温暖化対策本部会議

2/26 全員協議会  
2/26 定例教頭会議  
2/27 第2回教育委員会  
2/27 平成30年度第2回総合教育会議  
2/28 県立大連携協議会

堂坂教育長 2月行事予定について説明がありました。ご質問等ありましたらお願いします。  
ます。  
ないようですので、2月行事予定については以上で終わります。  
次に報告事項に移ります。

まず報告1「第22回図書館を使った調べる学習コンクール（全国大会）の結果について」説明をお願いします。

松田 参事 「第22回図書館を使った調べる学習コンクール（全国大会）の結果について」説明。

（説明の概要）

第6回野々市市「図書館を使った調べる学習コンクール」で集まった作品から選ばれたすばらしい作品を、第22回全国「図書館を使った調べる学習コンクール」に出品した結果について

優良賞：1作品 奨励賞：6作品 佳作：8作品

堂坂教育長 報告1について説明がありました。ご質問等ありましたらお願いします。  
安嶋 委員 よろしいですか。

堂坂教育長 どうぞ、安嶋委員。

安嶋 委員 出品総数が2倍近くに増えたということですが、こちらの要因については、学校から何か指導をしているのかということ。また実際、作品の質も上がっているということでしたが、学校教育の現場で、図書館を使った調べる学習コンクールへのサポートや質を上げる取組みというのは何か特別なことをされているのでしょうか。

松田 参事 はい、教育長。

堂坂教育長 どうぞ。

松田 参事 今ほどの質問について、小学校は例年200作品前後だったものが300作品まで増えておりますし、中学校も200作品余りだったものが400作品まで増えております。まず増えた要因ですが、やはり総合的学習の時間、あるいは夏季休業中の1研究のような取組みや探究的な学習のゴールとして、このコンクールが活用されるようになってきたということが主な要因であり、またこの事業を盛り上げようと奨励をしているということも関係して

いるかと思えます。次に、子ども達が調べる学習に臨むにあたって何か学校で特別行っていることがあるかということについて、例年行っているものですが、希望する保護者、子ども達に、チャレンジセミナーということで、前年度どういう作品が良かったということをもとに、学校で閲覧できるということも行っています。また、応募にあたってどういうところに気をつけて勉強すれば良いかということ希望する子ども達、保護者に示しております。それぞれの学校におきましても、学校司書が積極的にこのコンクールに関わるような取組みをしている状況でございます。

安嶋 委員  
堂坂教育長

ありがとうございます。

よろしいですか。

他にありませんか。

ないようですので、報告1については以上で終わります。

次に報告2「平成31年度立志式及び平成32年成人式について」お願いします。

横山部次長

「平成31年度立志式及び平成32年成人式について」説明。

(説明の概要)

平成31年度立志式について

開催予定日：平成31年11月27日(水)

時 間：午後2時～

会 場：文化会館フォルテ 大ホール

対 象：市内在住の中学2年生(管外中学校在学者を含む)

平成32年成人式について

開催予定日：平成32年1月12日(日)

時 間：午前10時～

会 場：文化会館フォルテ 大ホール

対 象：平成11年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた方

① 平成31年10月1日現在、市に住民登録のある方

② 平成31年10月2日以降に市内に転入した方

③ 学業、仕事などで市外に転出した新成人で式への参加を希望する方

(②・③の方は事前に参加希望の連絡が必要)

堂坂教育長

報告2について説明がありました。ご質問等ありましたらお願いします。

それでは私から、成人について20歳から18歳に改正される場合、今後の式運営について、何か内部で情報収集や検討していることはありますか。

横山部次長 はい。情報収集はしております。しかし、未だ国から指針等がございますし、おそらく各自治体にお任せするような考えであるかと思えます。色々他市町の状況を確認しましたところ、まだ考えていないというのがほとんどでありましたが、全国的に1番多い流れとして「成人式」という名称ではなく「20歳の集い」という形で、20歳の方々をターゲットに式を行うという案が今まで確認した中では多いです。また、3学年同時に行っても会場がパンクすることや、美容院や衣装屋さんもパンクするだろうということで、日にちをずらして行うという案もあるようです。

堂坂教育長 分かりました。国から示されないのですね。

横山部次長 おそらく国からは各自治体に対し、指導はしてこないと思います。

堂坂教育長 委員さんから何か、このことについて思っておられることがあります。

宮川 委員 はい。

堂坂教育長 どうぞ。

宮川 委員 3学年一緒に式を行うとなると、会場もパンクしてしまうことや、1番下の代は高校生ということで、受験も控えておりますし、女の子の場合だと「振袖着たいけど、着れない」ということも考えられます。20歳の集いということで、20歳になったときのお祝いをする形が、今は1番良いなと思います。

横山部次長 教育長。

堂坂教育長 どうぞ。

横山部次長 1番下の代の18歳となりますと、やはり受験で忙しい時期ですし、式に参加された後、同窓会のようなことも行ったりすることもあります。18歳から成人になるといっても、お酒やタバコについては依然として20歳まで禁止です。そういった中で、インターネットで調べていた際の情報になりますが、実際に18歳に該当する方々に話しを聞いても、「20歳になってから式があった方が良い」というお声が多いみたいです。

松野 委員 よろしいですか。

堂坂教育長 どうぞ。

松野 委員 いつ頃までに結論を出すかという目途はありますか。

横山部次長 確か2022年の成人式から18歳から参加となりますので、それまでには各自治体の検討結果が出揃うかと思えます。

大久保部長 補足になりますが、18歳から参加ということを決めるのも、各市町村ということになります。2022年度の4月に改正されますので、2023年の1月の成人の日がどのような流れになるかというお話しかと思います。それを決めるのも、先ほど横山部次長から指針といった通達文はおそらくないだろうという流れなのではないかというのが現状でして、この間テレビを

見ていた際に東京都の成人式が映っておりましたが、入口の看板には「20歳の集い」と書いてありました。そういう自治体もありますし、確かに受験真最中であることや、お酒が飲めないという点などもあります。

横山部次長 正直な話、近隣市である金沢市や白山市の動向を伺いつつ検討していく必要があると思います。

堂坂教育長 つまり、2022年の4月から18歳をもって成人とする法改正が施行されるということ。そうなれば2023年の成人式が最初の対象にはなるが、受験や会場といった解決しなければいけない問題が色々あるので、少し時間をかけて整理していこうということではよろしいですか。

横山部次長 はい。

堂坂教育長 また情報等が出来ましたら、報告いただくようお願いします。

他にありますか。

安嶋 委員 1つよろしいですか。

堂坂教育長 どうぞ。

安嶋 委員 成人式に参加している人数というのは、どのようですか。私の当時の頃は同級生みんな行くような流れだったのですが、最近は反対なのか、あるいはきちんとみんな参加するようになっているのか。私の当時の頃と比べれば、自分たちで主体的に企画を行っていたり、式に来やすい工夫というのはされていることだと思いますが、実際の参加者の数というのは、対象者がどれだけで、参加者はどれだけなのかということをお聞きしたいと思います。

横山部次長 今年で申しますと、対象人数が794名、参加者が363名、参加率が45.7%となりまして、県内で最も低い数字になります。ただし、野々市市には石川県立大学や金沢工業大学という4年制の大学が2つありまして、平成24年の国政調査のときに、なんとか単独で市制を施行したいという意向から、各大学の窓口で市民課が出張しまして、臨時窓口を開設しました。大学に就学するという理由で住民票も移すという方は少なかったのですが、臨時窓口を設けることによって、野々市市に来たら、住民票を野々市市に移して欲しいということで案内をしておりました。

安嶋 委員 そうすると、実際の分母はそれほど多くないということですか。

横山部次長 そうだと思います。

大久保部長 市制の施行のときにだけではなく、地方交付税の算定で住民基本台帳人口というものが影響もしますし、法律上は居住するところに住民票を移す、つまり住民登録をしなければいけませんので、毎年お願いをしております。それから男女の比率ですが、平成31年の対象者は男性が504名で女性が290名ということで214名男性が多いという結果が出ております。女性のみの



出席率は、対象者 290 名に対して 174 名という出席になりますので、60.0%という結果となっております。ただし男性は 37.5%と、女性に比べ大きく下回っています。

横山部次長 平成 30 年のときより、対象者だけでいうと 90 名ほど多いですし、会場的な見た目でいうと、人数的には昨年より多かったと思います。

堂坂教育長 よろしいですか。

他にありますか。

ないようですので、報告 2 は以上で終わります。

その他事項に入ります。

事務局から何かあればお願いします。

田村 課長 はい、教育長。

堂坂教育長 田村課長。

田村 課長 お手元にお配りしております埋蔵文化財講演会の開催についてご報告いたします。こちらは前回の定例教育委員会の際にもご報告させていただきましたが、この度チラシが完成しましたので、改めてご紹介させていただきたいと思います。こちらの講演会については、一般の方にも文化財に親しんでいただく機会を設けることを目的といたしまして、テーマを絞り、考古学において最前線で活躍されている先生方に、お話しいただく企画でございます。今回は「末松廃寺跡と北陸の古代寺院」というテーマで名古屋大学の梶原義実先生にお越しいたします。「末松廃寺が、なぜ末松の地に造られたか」ということを、全国各地の地方寺院の広い事例を使って、お話しをしていただきたいと思いますと思っております。平成 31 年 2 月 16 日（土）午後 2 時から午後 4 時に、学びの杜のいちカレードの研修室・会議室において開催する予定であります。また皆さまのお越しをお待ちしております。以上でございます。

堂坂教育長 埋蔵文化財講演会について説明がありました。ご質問等ありましたらお願いします。それではご都合が良ければぜひご出席をお願いします。

他にありますか。

清水 課長 はい。

堂坂教育長 清水課長。

清水 課長 はい。第 39 回全国中学校スケート大会に、野々市市から 2 人の選手が出場します。種目はフィギュアスケートでございます。野々市中学校の 3 年生、福地一真さんと、同じく野々市中学校 2 年生、柳田梨穂子さんのお 2 人が出場することになりまして、2 月 3 日（日）から長野県で大会が行われます。続きまして、第 74 回国民体育大会スキー競技会にクロスカントリーの部で野々市市から 1 人出場します。野々市市役所の職員であり環境安全課

で勤務しております山下悠佑選手でございます。また石川県民体育大会が2月23日（土）から24日（日）に行われますが、ご都合のつく方は、応援をお願いしたいと思います。以上です。

堂坂教育長 今ほどの報告についてご質問等ありましたらお願いします。

松野 委員 西泉のスケート場の選手ですかね。

清水 課長 そうですね。男子の方は3回転ジャンプなどできるそうです。また、石川県からフィギュアスケートの出場が2人だけで、その2人が野々市中学校です。

堂坂教育長 これまでもフィギュアスケート大会に出場してありましたか。

清水 課長 今年初めてです。

堂坂教育長 分かりました。

これでよろしいですか。

それでは他にありますか。

松本 委員 よろしいですか。

堂坂教育長 はい。

松本 委員 教育長の冒頭の挨拶でもあったかと思いますが、教育センターだよりを見ていまして、小学校低学年の不登校児童が増えているということを特に感じます。小学校の40人のうち19人が3年生以下なんですよ。今までは高学年で不登校児童が出て中学校へ、という現象が多かったと思いますが、今までと少し傾向が変わってきて、1、2年生の頃から不登校が出て、そのまま6年生まで進級し、中学校へ行く。やはり何か対策などを考えていかなければいけないという時期に来ているのかという危機感を感じます。また、新しい年度の予算の中でもそういう対策を考えておられるのか、今から検討していこうという考えなのか教えてください。

堂坂教育長 松田参事。

松田 参事 ありがとうございます。当然懸念はしておりますし、小学校で増えるということが中学校の増加へ繋がっていくことですので、増えなければいいと願っておりますが、願っているだけではだめですので、具体的な取組みとしましては、幼稚園・保育園から小学校へ申し送られてくる文書が小学校に保管されます。それを教育センターで閲覧していただきまして、早い時期に不登校傾向が見られる子ども達がどのようにして幼稚園・保育園で過ごしてきたのかということを調査研究して、今後の教育センターを中心とした不登校に対する取組みの施策に生かしていこうということが1つでございます。それから予算に係る部分については、明確にお伝えすることはできませんが、中学校に配置されておりました派遣の教育相談員を、平成29年度から小学校にも2名配置いたしております。必要があつて配置した

学校では、この配置によって不登校の解消・減少に効果があったということが明確です。新年度予算についても、こちらが充実するように頑張っておるところでございます。また、野々市市の特徴的な取組みといたしまして、幼・保・小・中・高の連携、特に生徒指導の部分がかなりウェイトを占めていますが、そういった連携を行っております。このあたりについて、もう少し小学校低学年あたりについて、スムーズな接続ということを考えていく必要があると考えているところです。

- 松本 委員 野々市市の保育園の数は何園ありますか。  
大久保部長 公立は5園あります。中央保育園、富奥保育園、押野保育園、あすなろ保育園、御経塚保育園の5園です。
- 松本 委員 あとは私立の保育園ですか。  
大久保部長 私立の保育園、認定子ども園になります。幼稚園は青竜第二幼稚園と北陸学院扇が丘幼稚園です。
- 松本 委員 これらとの連携ということですか。  
松田 参事 はい。  
堂坂教育長 その他に委員の皆さんからご発言ありますか。  
松野 委員 今大変流行っておりますインフルエンザについて、小中学校の状況が分かれば教えていただけたらと思います。
- 松田 参事 教育長。  
堂坂教育長 松田参事。
- 松田 参事 それでは小中学校におけるインフルエンザの発生状況について、口頭になります。少しご報告させていただきたいと思っております。こちら非常に懸念し、増えなければ良いと願っていることではあります。ここ4年の動きをみてみますと流行の時期が早いほど最終的には数が大きく膨らんでいく傾向があります。平成28年度は12月に流行しまして、今年度と傾向が良く似ております。平成27年度と平成29年度は12月はほとんど発生していませんでしたが、1月、2月と増えていきました。これは毎年の傾向となります。今年は12月に発生しまして小学校で143名、中学校で2名です。1月に入りますとやはり集団風邪の状況もありまして、今のところ1日から2日、学級閉鎖あるいは学年閉鎖をした延べクラス数でいいますと、10クラスとなり、4校の小学校において学級閉鎖あるいは学年閉鎖をしている状況です。
- 松野 委員 中学校は今のところ大丈夫ですか。  
松田 参事 中学校は大丈夫でございます。  
松本 委員 受験もありますし困りますね。  
松野 委員 ありがとうございます。

堂坂教育長 よろしいですか。  
他にありますか。  
ないようですので、4月の教育委員会の日程を決めたいと思います。  
《 日程調整 》

堂坂教育長 4月8日、月曜日の小学校の入学式が終わった後、第4回教育委員会といたします。また、4月23日、火曜日の午後2時から第5回教育委員会といたします。  
それでは以上で第1回教育委員会を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。

閉会 (午後3時5分)